

いこぞアक्रアスロン
E K I D E N大会開催

7月27日、夏の恒例イベント「いこぞアक्रアスロン E K I D E N大会」が町内外から150人を超えるアスリートを迎えて行われました。開会式では、参加選手の方々に激励の言葉をと尾崎県知事も来場してくれました。

気温34度という猛暑の中、観客やスタッフからの声援を受けながら、一生懸命泳ぎ抜きマラソンに向かうジュニア（ジュニアの部はスイム1000、200メートル・ラン2、4キロメートル）の子どもたち、鍛え抜かれた体で1・5キロのスイムと10キロメートルもの過酷なマラソンコースに挑む一般選手の方々、みんなゴール後は本当に達成感に満ち足りた表情をしていました。

競技以外での楽しさも準備されていることで参加者に好評を得ているこの大会は、前日のカツオパーティーに選手や関係者約80人も参加があり、毎年参加している選手の方や初めて来られた方々、アスリート同士での新しい交流



が生まれていました。選手の方からは「前日のパーティーや最後のお楽しみ抽選会を楽しみに毎年来ています」「昨年よりいい結果がでました。すごく楽しかった」「昨年初めて参加してすごくよかったので今年も挑戦に来ました」と、過酷なレースにも関わらずうれしいコメントをいただきました。

佐賀中学校美術部が紙の「いのぼり」に挑戦

7月31日、坂折地区集会所で、佐賀中学校美術部生徒4人が、夏休みのクラブ活動の一環として、紙の鯉のぼりづくりを行いました。

生徒らは、あらかじめ書きされた土佐和紙（不織布）へ思い思いに色を塗り、乾かす作業などを行いました。「ぬり絵みたいで楽しい」「次は下絵から自分の好きな絵を描いてみたい」と話してくれました。

坂折区長からは「地元住民以外の人が関わってくれることは大変ありがたいこと。今後このような機会を増やしていきたい」と新たな交流が生まれたことを喜んでいました。



作品は5月のフェスティバル(坂折地区)で空中・水中遊泳され、佐中祭(佐賀中学校)バザー商品としても出品する予定です。

町内約70人の子どもたちが北郷地区を満喫!!

8月2日、青少年育成黒潮町町民会議（事務局／少年輔導育成センター・教育委員会）が行う子ども広場事業が旧北郷小学校で行われ、参加した町内の約70人の子どもたちが、手づくりうちわや染物体験、流しそうめんや昔懐かしいボン菓子づくりを楽しみました。

午前中のうちわ作りでは、事務局や地元住民の方に手伝ってもらいながら、型を作り、紙張りをしたうちわにアニメのキャラクター、生き物や花など、絵の具まみれになって自由に絵を描きました。お昼は、子どもたちの一番のお楽しみ「流しそうめん」です。校庭に設置された4本の竹の流し台から流れるそうめんや



本物の葉っぱを使って、絵の具を上から散らすと素敵な模様が描けたよ

果物、ゼリーを器いっぱいに取りっていました。北郷地区では子どもたちのにぎやかな声が終日響き渡っていました。

北郷地区を代表してひばり工房の堀さんから「子どもたちを迎えてもてなすのは初めてのこと。人数を聞いて、ちゃんと受け入れることができたか心配したが、子どもたちもすごく楽しそうに遊んでいたし、何より受け入れた地元の方が子どもたちと一緒に触れ合うことで元気をもらえた。次もぜひやってみたい」と自然いっぱいの北郷地区の活動として今後益々期待されるコメントをいただきました。参加した子どもたち、北郷地区のみなさん、当日は暑い中、本当にお疲れさまでした。



どんどん流れてくるので食も進んでいたようです。食べる暇なく器をいっぱいしている子どもさんもありました。

幡東区農漁村女性の集い 環境を考えた地域づくり を目指して！

7月16日、入野漁民センターで、第28回目となる「幡東区農漁村女性の集い」が開催されました。（幡東地区農漁村女性グループ研究会主催）

当日は町内の農業・漁業・園芸などを行う女性活動団体が参加し、環境を考えた地域づくりをテーマに講師を招いての講演、それぞれの団体での取り組みの紹介発表が行われました。

幡東地区農漁村女性グループ 研究会の思い

町内の多数のグループが一同に集まって、このようにひとつの問題に対して考えてい



くことは大変異議あることだと思えます。環境問題は今までもこれからも学び実行していかねければならない大切なことの一つ。私たち女性グループが率先して環境問題に繋がる活動に取り組んでいけたらと思います。

環境問題に取り組む前に

- 「普通」と思っている今の生活を見直す
- 今の生活を維持して、できることから無理をせず取り組む

家庭でできるエコの工夫

冷蔵庫

ドアの開閉は短く回数を減らす・熱いものはあら熱を取る・背面、左右を壁から5センチメートル程度あける・詰めすぎない・冬は温度を弱める

エアコン

冷房は28度・暖房は20度

テレビ

つける時間を短く・家族と一緒に見る

照明

つけている時間を短く（部屋を離れるときや人がいないときは消す）

シーサイドギャラリー 2008夏開催

今年の夏も、町内各地で夕涼み会や盆踊り大会、納涼祭などたくさんさんの祭りが行われました。8月15日は、終日天候にも恵まれ、入野松原でシーサイドギャラリー2008が開催されました。

◆砂浜投げキッス（キス釣り大会）

今年は、大人13人、子ども3人の合計16人がキス釣りに参加してくれました。

町内在住の方や夏の帰省のお楽しみとして毎年参加してくださっている方、町外からの新たな挑戦者、昨年とはまた違った顔ぶれでの釣りバトルとなりました。



砂浜投げキッスへ参加いただいたみなさん

入野漁港堤防から大方球場

南部付近の砂浜まで、大会区域を各自でポイントを見つけ

て投げ釣りが開始されました。この日は天候には恵まれたものの、波が少し高めでコンディションが悪く、みなさんとても苦労しているようでした。結果は19・5センチメートルのキスを釣り上げた畦地祐平さんが大会委員長賞、キス以外の魚を13匹釣った金子道男さんが大漁賞を獲得しました。

◆盆踊り大会

祭り開始を知らせる花火があがると、会場には徐々に人が集まり始め、辺りが薄暗くなる頃には、出店の前から砂浜までは大勢の人で賑わっていました。



ルアナと楽しい仲間たち黒潮教室のみなさんです

提燈の灯りが砂浜を照らし、中央に組まれた櫓の上では、太鼓のたたき手が出番を待ちます。満月が水面に作った道を背にルアナと愉快な仲間たち（黒潮教室の優雅なフラダンスも披露されました）

太鼓のたたき奏者は、道倉幸彦さん、津野安史さん、堀川貴弘さん、津野紀史くん、林良磨くん、道倉幸柊くん、澳本幸生くんのみなさんでした。踊りの間、長時間にわたって太鼓を打ち鳴らし、踊りをより一層と盛り上げてくれました。踊り子は参加応募していた、入野本村婦人会のみなさん、ルアナと楽しい仲間たち、ハッスルダンサーズABの4団体のほか、当日飛び込みのたくさんのお客さんたち。最後には、イベント始まって以来のアンコールまで起こるといふ盛り上がりを見せていました。



祭りを締めくくる500発の花火に観客からは喜びの拍手！